

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が2例(60歳代男性2例)あり、いずれも感染地域は国内、感染経路は以前からの保菌です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が4例(60歳代女性2例及び70歳代女性2例)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は19例となりました。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html>
- ・ **水痘(入院例)**の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は発熱、発疹です。感染地域は国内で、感染経路は院内感染です。本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(50歳代男性)ありました。症状は硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は7例となりました。
- ・ **百日咳**の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は13例となりました。
- ・ **風しん**の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は発熱、発疹、リンパ節腫脹です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は5例となりました。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は、前週の9.45(652例)から7.25(500例)と減少しました。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、半期ごとのエイズ患者・HIV感染者数を公表しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 41例(肺結核 17例, その他結核 7例, 潜在性結核感染者 17例)うち喀痰塗抹陽性 9例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 19例】
- ・ 五類: 水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 13例】
- ・ 五類: 風しん 1例【1月以降の累積報告数 5例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	7.25	500
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.02	259
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	57
	③ 伝染性紅斑	0.91	39
	④ 突発性発しん	0.37	16
	⑤ RSウイルス感染症	0.35	15
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

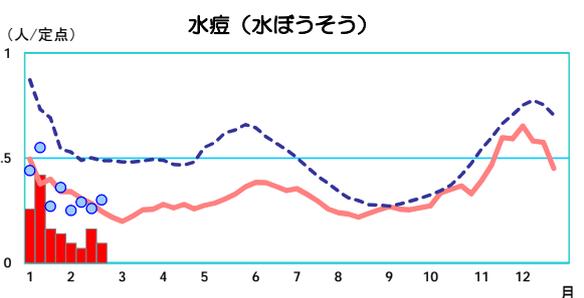
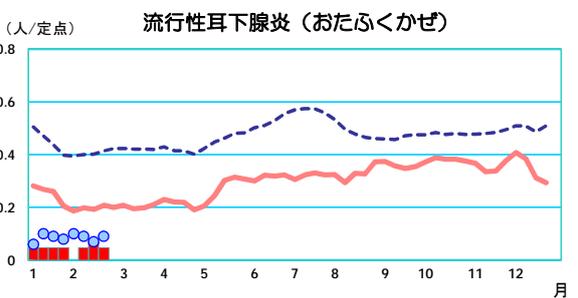
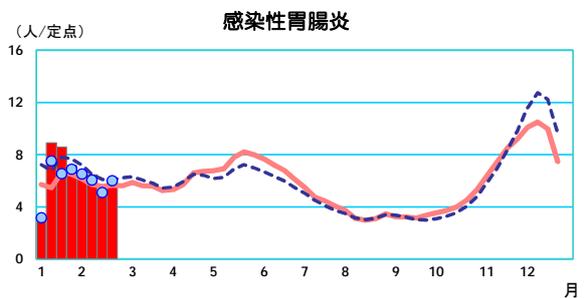
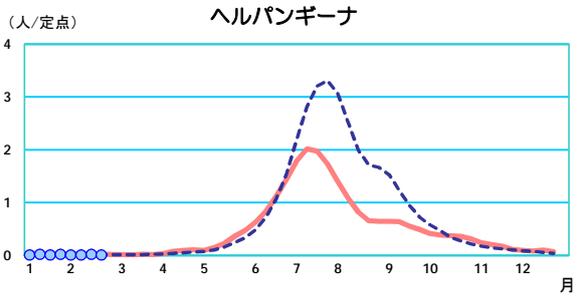
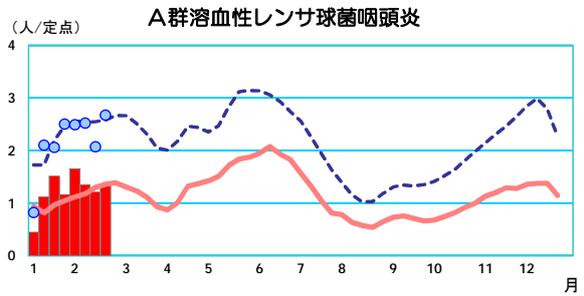
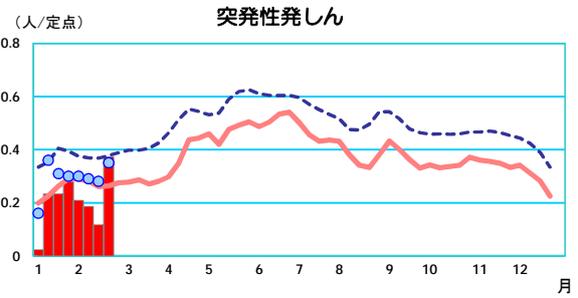
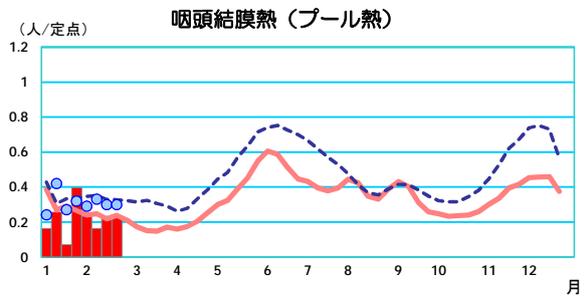
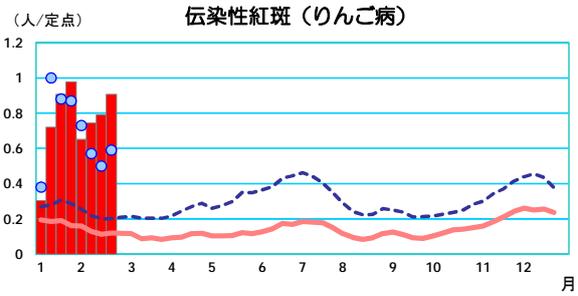
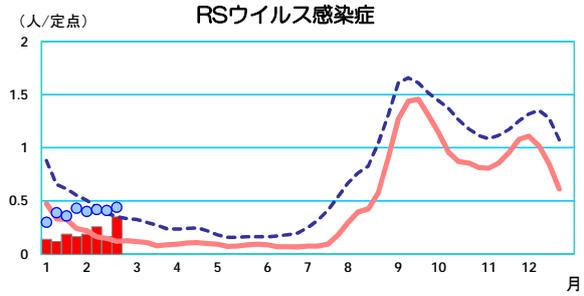
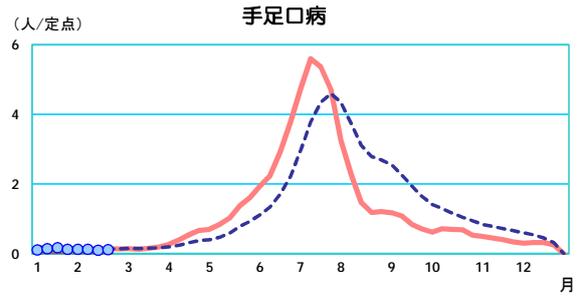
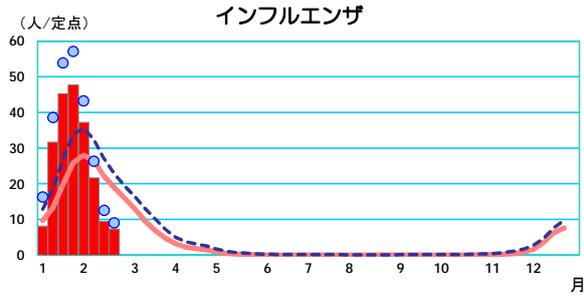
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年2月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第8週(2月18日～2月24日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、半期ごとのエイズ患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成30年7月から12月までの間、エイズ患者* 5例、HIV感染者** 8例の計13例の報告がありました(平成31年2月28日公表 下記URL参照)。

昭和62年以降の累積報告数は339例(エイズ患者 113例(33.3%), HIV感染者226例(66.7%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が262例で、全体の77.3%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が153例と最も多く、全体の45.1%を占めています。診断時の年齢階級別をみると、30歳代(127例)が最も多く報告されています。一方、年齢階級別における診断時エイズ患者(いわゆる「いきなりエイズ患者***」)率は年齢とともに上昇し、60歳代以上が最も高い比率(77.2%)を示しています(図2)。

近年、HIV感染症の薬剤と治療方法の飛躍的な進歩により、「HIV感染＝死」ではなくなりました。継続的な治療は必要ですが、感染後、早期に発見し、適切な治療を行えば、免疫力を落とすことなく、通常の生活が送れるようになりました。さらに、二次感染の予防にも繋がります。京都市では、平日昼間だけでなく、夜間及び土日にも検査を行っています。詳細については、以下のURLを御参照ください。

*エイズ患者 : HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染し免疫機能が低下したことにより、感染症や悪性腫瘍などの指定疾患を発症した状態と診断されたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがエイズを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

** HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがエイズの診断基準を満たさないもの

***いきなりエイズ患者 : HIV感染後エイズ発症まで通常5～10年要するにもかかわらず、エイズ発症により初めてHIV感染が判明する患者のこと

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者数について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

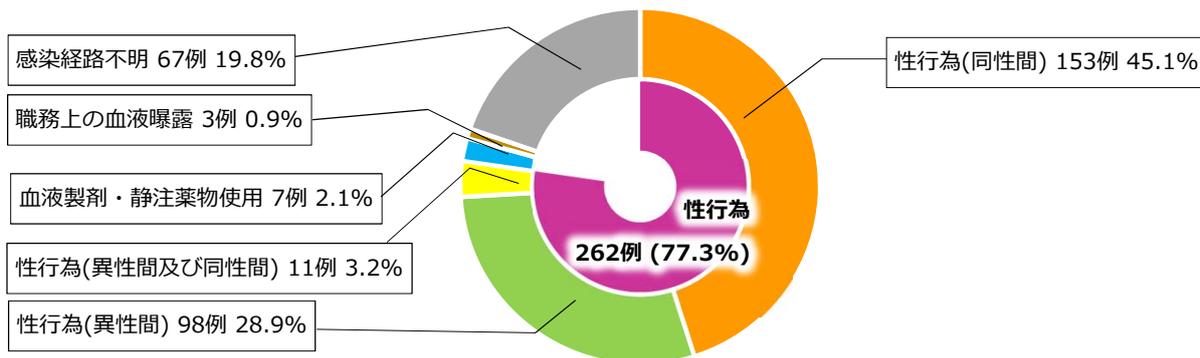
【京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変えました。)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

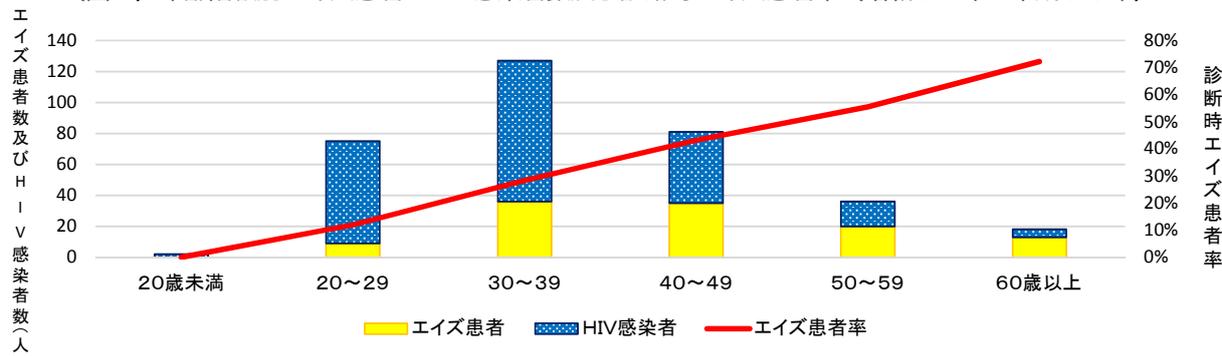
表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	エイズ患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成25年	257	83	174	238	19
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年	16	5	11	16	0
平成29年	19	9	10	18	1
平成30年	18	6	12	17	1
総計	339	113	226	315	24

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成30年)



(図2) 年齢階級別エイズ患者・HIV感染者数及び診断時エイズ患者率(昭和62年～平成30年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第8週

疾病,行政区別報告数

2019年2月18日～2019年2月24日

データ入手日:2019年2月27日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	22	-	1	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	17	-	-	3	16	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	79	-	-	8	41	-	-	3	-	-	-	-	-						
中京	22	1	-	5	19	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9	4	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	56	-	-	1	2	-	-	9	3	-	-	-	1						
下京	7	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-						
南	50	1	1	6	24	-	-	5	1	-	-	-	-						
右京	61	5	4	20	53	4	-	5	4	-	1	-	-						
伏見	114	2	3	8	57	-	3	10	5	-	1	-	-						
西京	63	2	1	6	27	-	-	6	1	-	-	-	-						
京都市計	500	15	10	57	259	4	3	39	16	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	3.14	-	0.25	-	1.00	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	3.40	-	-	1.00	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	11.29	-	-	2.00	10.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-						
中京	4.40	0.33	-	1.67	6.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.00	2.00	-	-	7.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	8.00	-	-	0.20	0.40	-	-	1.80	0.60	-	-	-	1.00						
下京	2.33	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
南	10.00	0.33	0.33	2.00	8.00	-	-	1.67	0.33	-	-	-	-						
右京	7.63	1.00	0.80	4.00	10.60	0.80	-	1.00	0.80	-	0.20	-	-						
伏見	10.36	0.29	0.43	1.14	8.14	-	0.43	1.43	0.71	-	0.14	-	-						
西京	7.88	0.40	0.20	1.20	5.40	-	-	1.20	0.20	-	-	-	-						
京都市計	7.25	0.35	0.23	1.33	6.02	0.09	0.07	0.91	0.37	-	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第8週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年2月18日～2019年2月24日

データ入手日:2019年2月27日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	500	3	9	23	30	41	39	38	38	24	21	20	50	15	28	30	30	20	14	14	13	
RSウイルス感染症	年齢3	15	6	2	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		10	-	-	2	2	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	-	-	1	5	8	7	8	9	5	4	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		259	2	20	31	37	30	26	21	19	8	8	9	19	5	24	-	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		39	-	-	1	4	5	6	7	6	3	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	5	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	7.25	0.04	0.13	0.33	0.43	0.59	0.57	0.55	0.55	0.35	0.30	0.29	0.72	0.22	0.41	0.43	0.43	0.29	0.20	0.20	0.19
RSウイルス感染症	年齢3	0.35	0.14	0.05	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.23	-	-	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	-	-	0.02	0.12	0.19	0.16	0.19	0.21	0.12	0.09	-	0.07	-	0.16	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.02	0.05	0.47	0.72	0.86	0.70	0.60	0.49	0.44	0.19	0.19	0.21	0.44	0.12	0.56	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.07	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.91	-	-	0.02	0.09	0.12	0.14	0.16	0.14	0.07	0.09	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.37	-	0.12	0.23	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第8週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年2月27日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	3,125	3,292	2,568	1,493	652	500
RSウイルス感染症	8	7	8	11	7	15
咽頭結膜熱	3	17	10	7	10	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	50	71	58	52	57
感染性胃腸炎	369	308	282	278	213	259
水痘	7	6	4	3	7	4
手足口病	2	1	2	3	3	3
伝染性紅斑	39	42	28	32	34	39
突発性発しん	10	12	9	8	5	16
ヘルパンギーナ	-	2	-	3	-	-
流行性耳下腺炎	2	2	-	2	3	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	1	2	3	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3,631	3,740	2,983	1,900	989	906

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	45.29	47.71	37.22	21.64	9.45	7.25
RSウイルス感染症	0.19	0.16	0.19	0.26	0.16	0.35
咽頭結膜熱	0.07	0.40	0.23	0.16	0.23	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	1.16	1.65	1.35	1.21	1.33
感染性胃腸炎	8.58	7.16	6.56	6.47	4.95	6.02
水痘	0.16	0.14	0.09	0.07	0.16	0.09
手足口病	0.05	0.02	0.05	0.07	0.07	0.07
伝染性紅斑	0.91	0.98	0.65	0.74	0.79	0.91
突発性発しん	0.23	0.28	0.21	0.19	0.12	0.37
ヘルパンギーナ	-	0.05	-	0.07	-	-
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	-	0.05	0.07	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	0.10	0.20	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	57.13	58.21	46.95	31.26	17.52	16.76

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。